



中央っ子春休み 学び・体験で思い出作り



コロナによってなかなか思い出が作れない子どもたちに、育成会の皆さんが主体となって特別な春休み行事を企画しました☆

3/18 やしよつま作り



先生の指導を受けます



色を付けて丸めます



コチラも色鮮やかな完成品のかずかず♥



色鮮やかなやしよつまが完成!!



梅岸で集合写真☆



水そうの裏側も同じ??



バックヤードツアーに参加

3/20 上越水族館見学



いざ検定本番!!



検定に向けて練習



グロけんの皆さんの多彩なけん玉披露

3/30 けん玉講習会

中央っ子応援団 募集中!!

中央地区では、各団体と協力して「中央っ子応援団」を結成し、下校時の見守り活動や子ども向けの行事への支援を行っています。

下校時の見守り活動は毎月第2・4水曜の午後、開智小周辺の信号機がない交差点で行っています。時間は1時間程度です。昔に比べて、子どもが地域と交

流する機会が減少しています。今後の地域を担う子どもたちを、地域で見守り、育てていきましょう。

中央っ子応援団にご興味のある方は、大手公民館までご連絡を!!

大手公民館 ☎0263-39-5711

長元坊 チョウゲンボウ

つばめ家族2

昨年は4月終わり頃に巣造りが始まった。今年は2週間ほど前、玄関先の電線に1羽とまっているのを見かけたが、その後見ていない。昨年の一部欠けた巣は、補強のため即席めんのカップ半分を、ガムテープで貼り付けてあった。それを取り外し壊れた巣だけの自然の状態にした。果たして帰ってきてくれるか。今頃どうしているのか気になっている。その生態は3月頃東南アジアから日本各地に飛来し始め、4月頃の繁殖期を経て9〜10月頃まで暮らし、戻って行くそうである。主食はハエ、アブ、トンボ、羽蟻などの昆虫類で、田畑の害虫を捕食する益鳥として温かく見守られている。巣は前年のものを使うと思っていたが、帰ってくるのは15%という調査もあるという。ツバメの寿命は16〜17年と言われているが、鳥や蛇等の天敵も多く生き延びるのは大変なようである。ただツバメ夫婦の、巣造りに、抱卵に、餌やりに、一途な姿。ひな鳥の成長の姿を見るのは何だか一つのドラマを感じ、また励ましをも感じるのである。(T・M)

中央地区の樹木 ⑮

大名町

シナノキ物語

昭和四十八年頃のこと。大名町町会では大名町通りの拡幅工

時の高山忠四郎町会長は、通りの街路樹について、若い人の意見が聞きたいと、花岡さん、石曾根さん、そして私(秋山)の三人に声をかけた。

当時の街路樹はプラタナスが主流だった。ただ、「プラタナスは葉が大きい。出来れば小さい葉の方がいい。」

三人で相談したが、街路樹の知識はあまりなく、開智に住んでいる植物学者の山崎林治先生へ相談することになった。

「特段希望がないならシナノキはどうでしょうか? 信濃の国が原産と聞いています。」

シナノキは見たことがなかった。カツラの木に似ていると言われてもイメージが湧かなかつた。

「それから、シナノキは花が咲きます。」

花岡さんのところは古本屋で、そこにドイツの古本があった。あるドイツの町では、シナノキと同じ属性のボダイジュを街路樹にしているという。ボダイジュは大木になり、多くの水が必要

だと。

「大名町は水位が高い。水には困らないはずだ。」

花が咲くこと、水には困らないこと、この二つを理由にシナノキを町会へ提案した。

私たちの提案のほか、「鳥が止まる木がいい」といった意見も反映され、シナノキ、ナナカマドの植栽が決まった。

シナノキもナナカマドも初夏に花を咲かせ、ナナカマドは秋に紅葉し赤い実をつける。冬まで残った実は鳥たちの食料となる。

平成四年には電柱の地中化が行われ、現在の通りとなった。

そして、平成十三年のこと。その時の町会長は古本屋の花岡さん。ある日、私の留守に何度も何度も電話をくれたよう、

よほど緊急のことだったと思い、帰宅してすぐに電話をかけた。

「大名町通りが『かおり風景百選』に選ばれた!!」

シナノキを選んだ当時、花が咲くとこんなにも香りがするとは知らなかった。

開花時期は、千歳橋まで届くほどの甘い香りを楽しみにしている。

(令和5年3月、

秋山泰則さん、

石曾根博男さん

より聞き取り)



町会紹介 南土井尻町

南土井尻町は、総戸数15世帯の小さな町会です。

私が子供のころは、

土手小路を中心にその両側に数多くの世帯があり、友人も大勢いましたが、大手門駐車場の建設に伴い、狭かった土手小路も16mの道路となり、雑然とした街並みは、統一された大手門駐車場として、生まれ変わり、世帯数も大きく減ってしまいました。

その後、駐車場の北棟に市立博物館の建設が進み、北棟の1階にあった商店も移転し、さらに世帯数は減ってしまいました。

昨年度には、土手小路も一新され、数多くの街灯が立ち、夜は大変明るい街となっています。

今年10月には、博物館もオープンする予定で、人の流れも大きく変わることが予想されます。

生まれ変わった土手小路と開館する博物館を中心に、町会の方々の結束と交流を深め、先人から引き継いだこの街を愛し続け、住みよいまちづくりをしていけたらと思います。



よろしくお願ひします

中央地区

地域づくりセンター長 ● 宇留賀 真理子



この度センター長に就任しました宇留賀です。住まいは岡田地区です。

地域づくりに携わるのは約10年振りとなりますが、皆さんのお役に立てるよう、精一杯頑張りますのでよろしくお願ひいたします。着任して以来、中央地区の皆さんの結束力や明るさ、何より地域活動を楽しんでいる姿から学ばせていただくとともに、住民の皆さんが声をかけてくれたり、誘ってくれたり嬉しく、「良い地区に來られて良かったな」と実感しています。

これから様々な地域活動を通して、微力ながら中央地区の地域づくりのお手伝いをさせていただきますので、皆さんのご指導をお願いします。



ありがとうございました

中央地区

前地域づくりセンター長 ● 藤森 千穂

この度、中央図書館へ異動になりました。図書館を出てからは20年以上たちますので、日々勉強させていただいています。

地域づくりセンターに異動が決まった際も、センター長としてやっていられるか不安でしたが、皆さまのご協力です。少しでも地区になじんでいけたように思います。地区の皆さまには、大変良くしていただき、この一年、楽しんで仕事をすることが出来ました。まだまだ中央地区にさせていたたくつもりでしたので、寂しい限りですが、仕事を楽しい気持ちを持てるようになったのは、中央地区での経験値と感謝しております。

幸いにも新しい職場はお隣の地区ですので、ちよくちよく顔を出させていたきたいです。土日には図書館のカウンターに出ますし、通勤の際など見かけましたら、お気軽にお声がけください。

最後になりますが、大変お世話になりました。ありがとうございました。